

<<ないしょのプリンセス4>>

图书基本信息

书名：<<ないしょのプリンセス4>>

13位ISBN编号：9784088560212

10位ISBN编号：4088560213

出版时间：1997-6

出版时间：集英社

作者：水沢めぐみ

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<ないしょのプリンセス4>>

内容概要

同じ幼稚園に通う幼稚園児の鈴木奏と柴田航生は、家も社宅の隣同士で大の仲良しだったが、母親同士の仲が非常に悪く、奏は母親から「航生君と仲良くしちゃだめ」と言われており、航生も母親から「奏ちゃんと遊んじゃだめ」と言われていた。

それでも二人は母親の居ないところで仲良く遊ぶ日々だったが、奏が6歳の時に航生が北海道に引っ越してしまう。

奏は航生を忘れられず手紙を書いて出したりもしたが、母親同士の仲が悪い為か、航生とは一度も連絡は取れなかった。

そして7年経ち、奏は成英大附属中学2年生になる。

始業式の日には奏のクラスに転校生が来るが、それは柴田航生であった。

奏は再会を喜ぶが、航生は奏を覚えておらず、奏に対してそっけない態度であった。

航生が引っ越してきた家は奏の家の隣であったが、奏が航生に告白すると、航生には既に恋人がおり奏は振られてしまう。

航生が奏のクラスに転校してきた事は、その日のうちに奏の母親にも知られるところとなり、奏は母親からまた「航生君とは仲良くしちゃだめ」と言われてしまう。

それから紆余曲折を経て恋人同士になれた奏と航生であるが、二人で手をつないで歩いているところを奏の母親に目撃されてしまい、奏は母親から「航生君と付き合ったら転校させる」と言われてしまう。

その事を奏が航生に相談すると、航生も同じ様な事を母親から言われていた。

二人はやむを得ず、周囲には内緒で付き合う事にする。

しかし、内緒にしているが故に、周囲の生徒から色々と誤解をされてしまう。

奏と隆一郎（奏と航生の幼なじみの友人で奏に恋をしている）が恋人同士だと思われたり、航生に恋をする下級生が現れたり、奏に恋をする下級生が現れたりして、彼らと文化祭で劇をやったり、部活の試合に行ったり、スケートに行ったり、遊園地に行ったり、彼らから告白されたりしていくうちに、徐々に周囲の生徒も「本当は奏は航生と付き合っているのではないか」、という事に気付いていく。

そしてついに二人が付き合っている事を二人の母親に知られてしまい、奏は母親から激しく怒られてしまう。

そして二人は交際をやめる事を決めてしまうが、周囲の友人たちの励ましもあって「親に反対されても転校させられても、恋人同士でいよう」と決心する。

やがて母親同士も仲良くなり、奏と航生の交際を認めてくれるようになり、2年生の3学期の「3年生を送る会」が終わった後でハッピーエンドで終わる。

<<ないしょのプリンセス4>>

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>